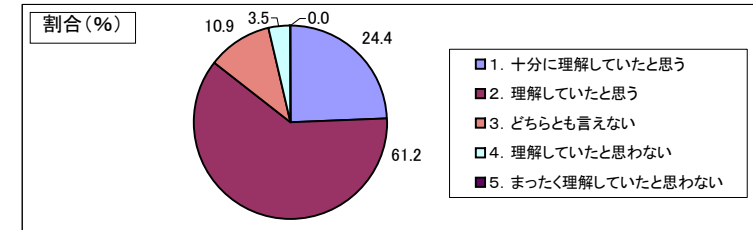


内部統制監査に関する実態調査

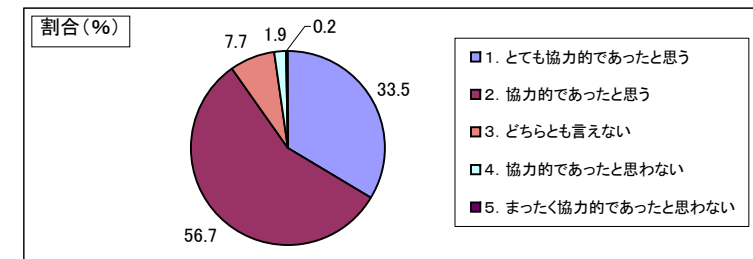
Q1【選択設問】 監査責任者の視点からみて、被監査会社の経営者は、内部統制報告制度の趣旨を理解していたと思いますか。

回答者数	430	—
選択項目	人数	割合
1. 十分に理解していたと思う	105	24.4
2. 理解していたと思う	263	61.2
3. どちらとも言えない	47	10.9
4. 理解していたと思わない	15	3.5
5. まったく理解していたと思わない	0	0.0
合計	430	100.0



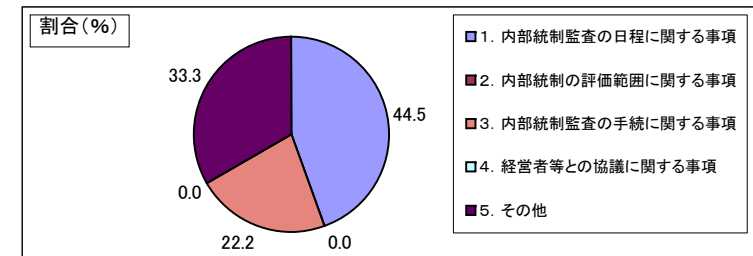
Q2-1【選択設問】 被監査会社の対応は、監査責任者の視点からみて、導入初年度に入る準備段階を含め、内部統制監査に協力的であったと思いますか。

回答者数	430	—
選択項目	人数	割合
1. とても協力的であったと思う	144	33.5
2. 協力的であったと思う	244	56.7
3. どちらとも言えない	33	7.7
4. 協力的であったと思わない	8	1.9
5. まったく協力的であったと思わない	1	0.2
合計	430	100.0



■Q2-1で「4. 協力的であったと思わない」又は「5. まったく協力的であったと思わない」と回答した9人について
Q2-2【選択設問】 下記の選択項目1～5のうち、特にどの事項について協力的でなかったと思いますか。

回答者数	9	—
選択項目	人数	割合
1. 内部統制監査の日程に関する事項	4	44.5
2. 内部統制の評価範囲に関する事項	0	0.0
3. 内部統制監査の手続に関する事項	2	22.2
4. 経営者等との協議に関する事項	0	0.0
5. その他	3	33.3
合計	9	100.0



内部統制監査に関する実態調査

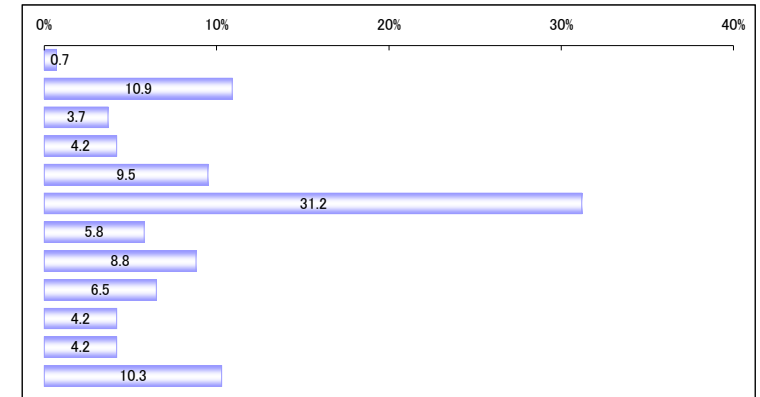
Q2-3【記述設問】 Q2-2で選択した項目について、その内容をご記入ください。

1. 内部統制監査の日程に関する事項	件数
・被監査会社の評価作業が遅れたこと	4
合計	4
2. 内部統制の評価範囲に関する事項	件数
	0
合計	0
3. 内部統制監査の手続に関する事項	件数
・エラーに対する改善状況の確認作業が不明瞭であったこと	1
・被監査会社の理解不足により内部統制監査手続の説明等に時間を要したこと	1
合計	2
4. 経営者等との協議に関する事項	件数
	0
合計	0
5. その他	件数
・会社が内部統制報告制度の効果が低いと考えており、全般的に積極的でなかったこと	1
・被監査会社の評価作業が遅れており、監査に対応できる状況ではなかったこと	1
・内部統制の評価担当者に能力のある人が配置されなかったこと	1
合計	3

内部統制監査に関する実態調査

Q3-1【選択設問】 内部統制監査の初年度を終えて、監査責任者の立場からみて、監査チームが内部統制監査において、最も苦労したと思うことは何でしょうか。

回答者数	430	—
選択項目	人数	割合
1. 監査人の独立性の検討	3	0.7
2. 監査計画の策定	47	10.9
3. 評価範囲の妥当性の検討	16	3.7
4. 全社的な内部統制の評価の検討	18	4.2
5. 決算・財務報告プロセスに係る内部統制の評価の検討	41	9.5
6. 業務プロセスに係る内部統制(決算・財務報告プロセスを除く)の評価の検討	134	31.2
7. ITに係る内部統制の評価の検討	25	5.8
8. 内部統制の不備の判断	38	8.8
9. 内部統制の重要な欠陥の判断	28	6.5
10. 不備又は重要な欠陥の存在が財務諸表監査に与える影響の検討	18	4.2
11. その他	18	4.2
12. 特にない	44	10.3
合計	430	100.0



■ Q3-1で「12. 特にない」以外の回答をした386人について

Q3-2【記述設問】 前問で選択した項目について、最も苦労したと思うことの内容をご記入ください。

1. 監査人の独立性の検討	件数
・文書化及び評価の方法について監査人がどこまで関与できるのかの判断に苦労した	3
合計	3

2. 監査計画の策定	件数
・被監査会社の評価作業の範囲、時期などの調整を踏まえた計画の策定に苦労した	20
・被監査会社の評価作業の遅れを含め、被監査会社との調整に苦労した	14
・内部統制監査の各段階における作業工数を適切に計画することに苦労した	13
合計	47

3. 評価範囲の妥当性の検討	件数
・評価範囲の質的な重要性の判断に苦労した	9
・取引実態を考慮したプロセスの区分けに苦労した	4
・評価範囲の絞り込みの選定指標について、計画ベースとするか実績ベースとするかの判断に苦労した	3
合計	16

4. 全社的な内部統制の評価の検討	件数
・実施基準に例示されている42のチェック項目の解釈や全社的な内部統制の有効性の判断に苦労した	8
・過年度や期中の全社的な内部統制の重要な欠陥や不備への対応に苦労した	3
・子会社等の範囲が広いため全社的な内部統制の監査に苦労した	3
・全社的な内部統制の文書化の妥当性の検討に苦労した	2
・全社的な内部統制の評価方法等について会社との意見調整に苦労した	2
合計	18

内部統制監査に関する実態調査

5. 決算・財務報告プロセスに係る内部統制の評価の検討	件数
・被監査会社の評価作業が遅延したため苦労した	7
・監査人が発見した事項、財務諸表上の開示の記載誤り、四半期レビュー等でのエラーの扱いに苦労した	7
・財務諸表監査の繁忙期と重なったため苦労した	5
・決算・財務報告プロセスの不備は期末日までに改善の機会がないため、慎重に検証をする必要があり、苦労した	4
・決算・財務報告プロセスの不備や重要な欠陥の判断に苦労した	4
・被監査会社の担当部署の知識・能力不足や人員不足により苦労した	4
・決算・財務報告の見積りに関するプロセスの評価の検討に苦労した	2
・決算・財務報告プロセスの文書化が不十分であったため苦労した	2
・決算・財務報告プロセスに係る内部統制の評価の検討について、そのレベル感やキーコントロールの選定について被監査会社との協議に苦労した	2
・その他	4
合計	41

6. 業務プロセスに係る内部統制(決算・財務報告プロセスを除く)の評価の検討	件数
・キーコントロールの選定とその評価について被監査会社との調整に苦労した	37
・業務プロセスの文書化の妥当性の検討に苦労した	25
・被監査会社の評価作業が遅延したため苦労した	23
・業務プロセスの範囲が広く作業量が多いので苦労した	16
・サンプリングでの母集団の設定やエラーがあった場合の対応に苦労した	7
・業務プロセスの評価を行う人の知識不足に苦労した	6
・初年度であり、被監査会社も作業に慣れない面があったため苦労した	5
・業務プロセスをどこまで細分化するかに苦労した	3
・期中に発見された不備の改善等に苦労した	2
・海外子会社への対応に苦労した	2
・被監査会社の部門間で評価のレベル感にばらつきがあり調整に苦労した	2
・その他	4
・記述なし	2
合計	134

7. ITに係る内部統制の評価の検討	件数
・IT全般統制の評価の検討に苦労した	7
・被監査会社の評価作業が遅延したため苦労した	4
・被監査会社が小規模で、IT関連の規程がないことやITに関する専門家がいなかったために苦労した	3
・対象とするプロセス数が多く、ITシステムが広範囲かつ複雑であるため苦労した	3
・ITに係る内部統制の有効性の判断等の基準が明確でないため苦労した	2
・ITに係る内部統制について被監査会社との見解の相違や調整に苦労した	2
・被監査会社のIT知識が十分でなかったため苦労した	2
・その他	2
合計	25

内部統制監査に関する実態調査

8. 内部統制の不備の判断	件数
・どのようなエラーを不備とするか内部統制の不備の判断に苦労した	20
・不備が財務諸表に与える影響や不備の影響額の算定に苦労した	7
・被監査会社との不備の認識の相違や不備の判断に関する調整に苦労した	6
・その他	3
・記述なし	2
合計	38

9. 内部統制の重要な欠陥の判断	件数
・発見された不備が重要な欠陥に該当するか否かの判断に苦労した	15
・訂正報告や開示の誤りを重要な欠陥とどうかの判断に苦労した	5
・重要な欠陥の判断に当たっての発生の可能性や影響の大きさ、不備の合算方法に苦労した	4
・重要な欠陥について被監査会社との意見調整に苦労した	2
・その他	2
合計	28

10. 不備又は重要な欠陥の存在が財務諸表監査に与える影響の検討	件数
・重要な欠陥が財務諸表監査の手續や結論に及ぼす影響に苦労した	9
・不備又は重要な欠陥の潜在的影響額と発生可能性の検討に苦労した	3
・決算日以後に重要な欠陥が発見されたため、その対応に苦労した	2
・財務諸表監査での検出事項が内部統制監査にどのような影響を及ぼすのかに苦労した	2
・その他	2
合計	18

11. その他	件数
・被監査会社の評価作業が遅延したため苦労した	6
・海外子会社の内部統制の評価の検討に苦労した	4
・被監査会社へ制度の理解に資するための説明や文書化等の指導に苦労した	4
・被監査会社において制度を的確に理解している人材が乏しいため苦労した	2
・その他	2
合計	18

Q3-3【記述設問】監査チームが内部統制監査において、最も苦労したことについて、最終的には、内部統制監査の初年度においてどのような対処をしましたか。特筆すべきことがあればその内容をご記入ください。特筆すべきことがない場合には、「特になし」とご記入ください。(複数集計あり)

「1. 監査人の独立性の検討」で苦労したこと(3件)について	件数
・会社との協議及び会社への指導を行うことにより対処した	2
・監査チーム内で協議等を行うことにより対処した	1
・指揮を受ける部門が異なる2チームを編成した	1
合計	4

「2. 監査計画の策定」で苦労したこと(47件)について	件数
・会社との協議及び会社への指導を行うことにより対処した	20
・スケジュールを見直すことにより対処した	7
・監査チーム内で協議等を行うことにより対処した	3
・その他	3
・特になし	19
合計	52

内部統制監査に関する実態調査

「3. 評価範囲の妥当性の検討」で苦勞したこと(16件)について	件数
・会社との協議及び会社への指導を行うことにより対処した	2
・その他	2
・特になし	12
合計	16

「4. 全社的な内部統制の評価の検討」で苦勞したこと(18件)について	件数
・会社との協議及び会社への指導を行うことにより対処した	7
・工数、人員を投入して対処した	2
・その他	2
・特になし	8
合計	19

「5. 決算・財務報告プロセスに係る内部統制の評価の検討」で苦勞したこと(41件)について	件数
・会社との協議及び会社への指導を行うことにより対処した	17
・工数、人員を投入して対処した	3
・監査チーム内で協議等を行うことにより対処した	2
・監査法人内の機能(ツール、相談等)を利用して対処した	2
・特になし	18
合計	42

「6. 業務プロセスに係る内部統制(決算・財務報告プロセスを除く)の評価の検討」で苦勞したこと(134件)について	件数
・会社との協議及び会社への指導を行うことにより対処した	36
・工数、人員を投入して対処した	22
・スケジュールを見直すことにより対処した	9
・監査チーム内で協議等を行うことにより対処した	7
・外部コンサルタントを導入することで対処した	1
・特になし	63
合計	138

「7. ITに係る内部統制の評価の検討」で苦勞したこと(25件)について	件数
・会社との協議及び会社への指導を行うことにより対処した	3
・監査チーム内で協議等を行うことにより対処した	3
・監査法人内の機能(ツール、相談等)を利用して対処した	3
・工数、人員を投入して対処した	1
・特になし	15
合計	25

「8. 内部統制の不備の判断」で苦勞したこと(38件)について	件数
・会社との協議及び会社への指導を行うことにより対処した	7
・監査法人内の機能(ツール、相談等)を利用して対処した	2
・その他	2
・特になし	27
合計	38

内部統制監査に関する実態調査

「9. 内部統制の重要な欠陥の判断」で苦労したこと(28件)について	件数
・会社との協議及び会社への指導を行うことにより対処した	9
・他の監査人と協議を行うことにより対処した	5
・その他	4
・特になし	11
合計	29

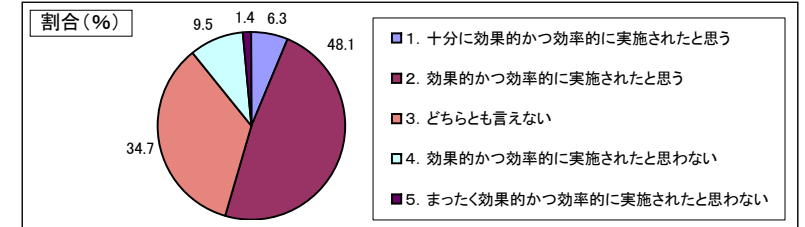
「10. 不備又は重要な欠陥の存在が財務諸表監査に与える影響の検討」で苦労したこと(18件)について	件数
・会社との協議及び会社への指導を行うことにより対処した	4
・監査チーム内で協議等を行うことにより対処した	4
・監査法人内の機能(ツール、相談等)を利用して対処した	3
・スケジュールを見直すことにより対処した	2
・特になし	6
合計	19

「11. その他」で苦労したこと(18件)について	件数
・会社との協議及び会社への指導を行うことにより対処した	7
・スケジュールを見直すことにより対処した	2
・その他	3
・特になし	6
合計	18

内部統制監査に関する実態調査

Q4-1【選択設問】 監査責任者の視点から、財務諸表監査と内部統制監査を一体的に行うことにより財務諸表監査が効果的かつ効率的に実施されたと思いますか。

回答者数	430	—
選択項目	人数	割合
1. 十分に効果的かつ効率的に実施されたと思う	27	6.3
2. 効果的かつ効率的に実施されたと思う	207	48.1
3. どちらとも言えない	149	34.7
4. 効果的かつ効率的に実施されたと思わない	41	9.5
5. まったく効果的かつ効率的に実施されたと思わない	6	1.4
合計	430	100.0



■Q4-1で「4. 効果的かつ効率的に実施されたと思わない」又は「5. まったく効果的かつ効率的に実施されたと思わない」と回答した47人について

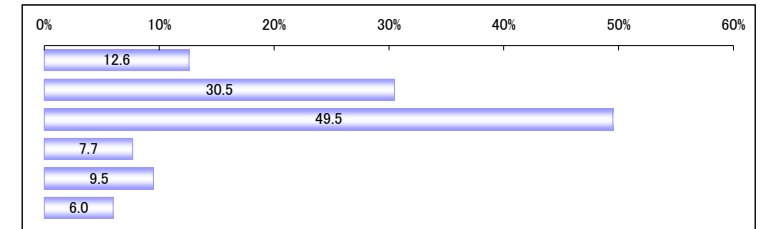
Q4-2【記述設問】 財務諸表監査が効果的かつ効率的に実施されたと思わないと答えた理由をご記入ください。

	件数
・内部統制の評価及び監査等に相当な時間がかかり、財務諸表監査を効果的かつ効率的に行うことに寄与した印象が薄いため	20
・四半期レビューや財務諸表監査との作業が重複したため	10
・実証手続等の財務諸表の監査手続の軽減効果がなかったため	8
・財務諸表監査と内部統制監査を区別して考えているため	3
・内部監査人等の作業等が内部統制監査に利用できるレベルではなかったため	2
・その他	4
合計	47

内部統制監査に関する実態調査

Q5-1【選択設問】 監査責任者の視点から、内部統制報告制度導入により被監査会社に及ぼしたメリットはあったと思いますか。
(選択項目1～4は複数選択可)

回答者数	430	—
選択項目	件数	割合
1. 法令等の遵守(資産の保全や不正の発見等を含む)に関するメリットがあったと思う	54	12.6
2. 業務の有効性及び効率性に関するメリットがあったと思う	131	30.5
3. 財務報告の信頼性に関するメリットがあったと思う	213	49.5
4. 上記1～3以外のメリットがあったと思う	33	7.7
5. メリットがあったと思わない	41	9.5
6. 分からない	26	6.0
合計	498	115.8



■Q5-1で「5. メリットがあったと思わない」又は「6. 分からない」以外の回答をした431件について
Q5-2【記述設問】 前問で選択項目1～4を選択した場合には、メリットの内容をご記入ください。

1. 法令等の遵守(資産の保全や不正の発見等を含む)に関するメリット	件数
・法令等の遵守への意識が高まった	35
・法令等の遵守に関する規程や体制の整備につながった	13
・不正等の発見に寄与した	5
・記述なし	1
合計	54

2. 業務の有効性及び効率性に関するメリット	件数
・業務を見直すきっかけになったことや実際に改善がなされた	87
・文書化に伴い業務内容が明確になった	24
・業務の有効性及び効率性に関して意識が高まった	15
・その他	4
・記述なし	1
合計	131

3. 財務報告の信頼性に関するメリット	件数
・財務報告の信頼性に関して意識が高まった	76
・決算数値を検証するなどチェック体制の強化等により決算・財務報告プロセスにおける内部統制が整備・運用されることで財務報告の信頼性が高まった	66
・規程や社内ルール、チェックリスト等が整備され業務内容や責任と権限が明確化するなど業務を見直すきっかけとなった	61
・経理部門の能力の向上や人員の増強があった	7
・その他	2
・記述なし	1
合計	213

4. 上記1～3以外のメリット	件数
・内部統制に対する意識や理解が向上した	21
・社内規程や組織体制の整備につながった	10
・エラーが生じやすい領域が特定できるようになった	1
・記述なし	1
合計	33

内部統制監査に関する実態調査

Q6【記述設問】 監査責任者の視点から、内部統制報告制度導入により被監査会社に及ぼしたデメリットはあったと思いますか。デメリットがあったと思う場合にはその内容をご記入ください。特にない場合には、「特になし」とご記入ください。（複数集計あり）

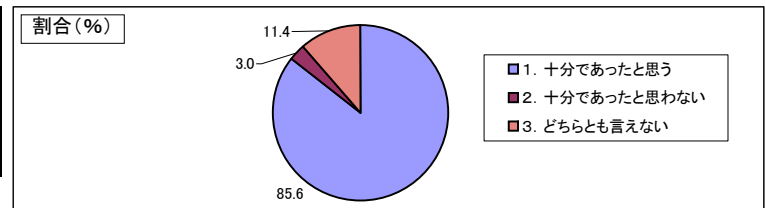
回答者数	430	—
	件数	割合
・コスト(金銭的成本、業務量)が増加したと思う(※)	219	50.9
・業務が形骸化し、非効率的になったと思う	28	6.5
・無駄な文書が増加したと思う	11	2.6
・会社内の雰囲気が悪化したと思う	4	0.9
・その他	4	0.9
・特になし	171	39.8
合計	437	101.6

※ 「コスト(金銭的成本、業務量)が増加したと思う」の詳細は次のとおり

「コスト(金銭的成本、業務量)が増加したと思う」	件数
・特に業務量が増え、間接人員コストが増加したと思う	45
・特に監査報酬、コンサルティング費用等、金銭的成本が増加したと思う	27
・具体的な記述なし(単に「コストが増えた」とする回答)	147
合計	219

Q7-1【選択設問】 内部統制監査初年度を終えて、監査責任者の立場から、初年度の監査対応(品質管理を含む)は十分であったと思いますか。

回答者数	430	—
選択項目	人数	割合
1. 十分であったと思う	368	85.6
2. 十分であったと思わない	13	3.0
3. どちらとも言えない	49	11.4
合計	430	100.0



■Q7-1で「2. 十分であったと思わない」と回答した13人について

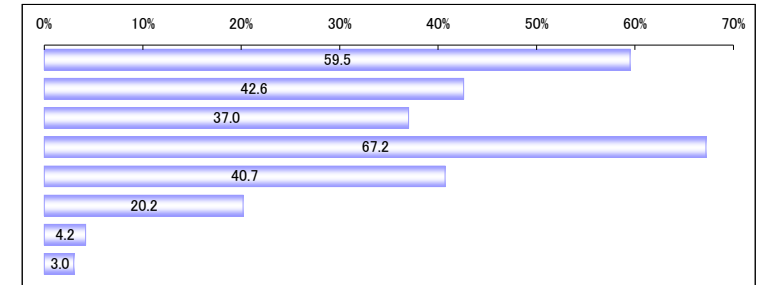
Q7-2【記述設問】 特にどのような点で十分でなかったと思われましたか。その内容をご記入ください。

	件数
・監査人の判断が統一されていないこと	5
・被監査会社の評価体制が不十分であったこと	5
・その他	3
合計	13

内部統制監査に関する実態調査

Q8-1【選択設問】 経営者との協議では主にどのような事項を協議しましたか。(選択項目1~7は複数選択可)

回答者数	430	—
選択項目	件数	割合
1. 評価範囲について	256	59.5
2. 評価手続の方法について	183	42.6
3. 評価の時期について	159	37.0
4. 評価作業の進捗状況について	289	67.2
5. 内部統制の不備の判断について	175	40.7
6. 内部統制の重要な欠陥の判断について	87	20.2
7. その他	18	4.2
8. 特になし	13	3.0
合計	1180	274.4



■Q8-1で「7. その他」と回答した18件について

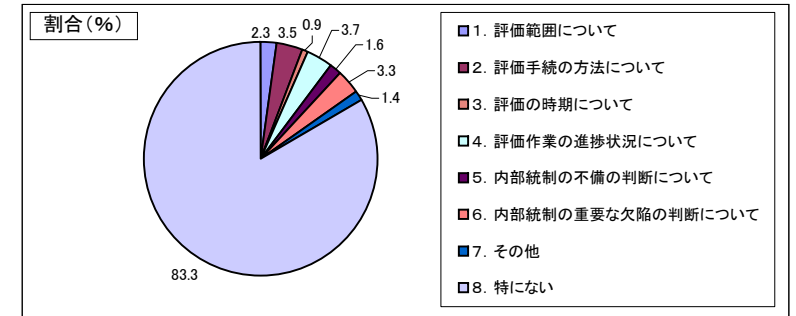
Q8-2【記述設問】 前問で選択項目7を選択した場合には、その内容をご記入ください。

7. その他	件数
・監査方法、監査範囲、進捗状況、結果、来年度に向けての課題など全般的な事項について	4
・内部統制の構築や評価の体制について	4
・全社的な内部統制について	3
・ITに関わる戦略や評価について	2
・海外を含む子会社の状況等について	2
・不備の内容やその改善策について	2
・あくまでも法令が求めるから対応しているという域を出なかった	1
合計	18

内部統制監査に関する実態調査

Q9-1【選択設問】 経営者との協議で経営者と意見が合わず、特に時間を要した事項はありますか。

回答者数	430	—
選択項目	人数	割合
1. 評価範囲について	10	2.3
2. 評価手続の方法について	15	3.5
3. 評価の時期について	4	0.9
4. 評価作業の進捗状況について	16	3.7
5. 内部統制の不備の判断について	7	1.6
6. 内部統制の重要な欠陥の判断について	14	3.3
7. その他	6	1.4
8. 特にない	358	83.3
合計	430	100.0



■ Q9-1で「8. 特にない」以外の回答をした72人について

Q9-2【記述設問】 前問で選択項目1~7を選択した場合には、その内容をご記入ください。

1. 評価範囲について	件数
・子会社及び持分法適用関連会社の取扱い	6
・リスクが高い勘定科目やプロセスの追加	3
・評価範囲における質的な重要性	1
合計	10

2. 評価手続の方法について	件数
・キーコントロールの識別	7
・文書化のレベル感	4
・在外子会社の評価手続	2
・その他	2
合計	15

3. 評価の時期について	件数
・決算・財務報告プロセスの評価の時期	1
・評価作業の全体のスケジュール	1
・会社の評価手続の時期の遅れ	1
・評価の効率性と深度を兼ね備えた適切な評価時期	1
合計	4

4. 評価作業の進捗状況について	件数
・被監査会社の評価作業の遅延	15
・記述なし	1
合計	16

5. 内部統制の不備の判断について	件数
・不備の概念や不備の評価の考え方の解釈	7
合計	7

内部統制監査に関する実態調査

6. 内部統制の重要な欠陥の判断について	件数
・重要な欠陥に該当するか否かについての判断	10
・内部統制報告制度における専門用語としての「重要な欠陥」の意味内容	3
・内部統制が有効でない場合の内部統制報告書の記載内容	1
合計	14

7. その他	件数
・監査報酬	1
・IT全般統制の評価	1
・全社的な内部統制の有効性の判断	1
・内部統制の構築	1
・内部統制監査対応の人員増員	1
・記述なし	1
合計	6

Q9-3【記述設問】 Q9-2で記入した内容について、最終的にはどのような対応をとりましたか。特筆すべきことがありましたら、その内容をご記入ください。特筆すべきことがない場合には、「特になし」とご記入ください。

1. 評価範囲について	件数
・会社との協議を行うことにより対応した	4
・監査法人内で協議を行うことにより対応した	1
・他の監査人と協議を行うことにより対応した	1
・特になし	4
合計	10

2. 評価手続の方法について	件数
・会社との協議を行うことにより対応した	11
・他の監査人と協議を行うことにより対応した	1
・特になし	3
合計	15

3. 評価の時期について	件数
・会社との協議を行うことにより対応した	1
・工数、人員を投入して対応した	1
・特になし	2
合計	4

4. 評価作業の進捗状況について	件数
・会社との協議を行うことにより対応した	6
・工数、人員を投入して対応した	2
・経営者による評価作業が遅れたため、利用しないこととした	1
・特になし	7
合計	16

5. 内部統制の不備の判断について	件数
・会社との協議を行うことにより対応した	2
・特になし	5
合計	7

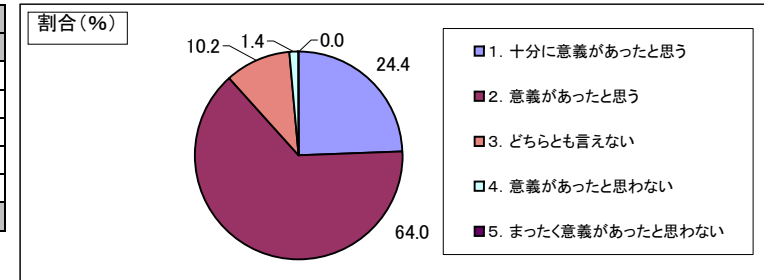
内部統制監査に関する実態調査

6. 内部統制の重要な欠陥の判断について	件数
・会社との協議を行うことにより対応した	7
・監査法人内で協議を行うことにより対応した	1
・特になし	6
合計	14

7. その他	件数
・会社との協議を行うことにより対応した	3
・工数、人員を投入して対応した	1
・特になし	2
合計	6

Q10-1【選択設問】 監査責任者の視点から、経営者との協議は、内部統制監査を効果的かつ効率的に実施する上で意義があったと思いますか。

回答者数	430	—
選択項目	人数	割合
1. 十分に意義があったと思う	105	24.4
2. 意義があったと思う	275	64.0
3. どちらとも言えない	44	10.2
4. 意義があったと思わない	6	1.4
5. まったく意義があったと思わない	0	0.0
合計	430	100.0



■Q10-1で「4. 意義があったと思わない」又は「5. まったく意義があったと思わない」と回答をした6人について

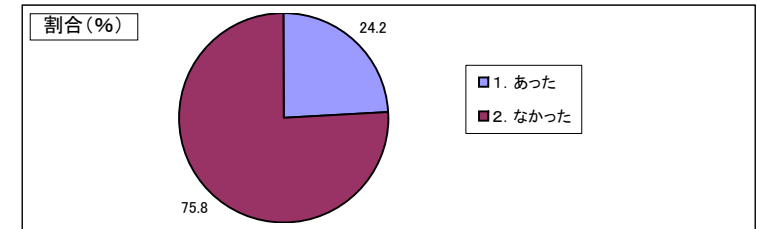
Q10-2【記述設問】 経営者との協議が内部統制監査を効果的かつ効率的に実施する上で意義があったと思わないと答えた理由をご記入ください。

	件数
・担当者が作成したものを報告しているなど、協議内容が意義のあるものではなかったため	3
・経営者が制度や基準等を十分に理解していなかったため	2
・会社規模に対し、協議内容が精緻すぎたため	1
合計	6

内部統制監査に関する実態調査

Q11-1【選択設問】 監査役又は監査委員会との連携において、監査役又は監査委員会から監査人へ情報提供された事項（監査役等の監査結果の利用を含む）はありましたか。

回答者数	430	—
選択項目	人数	割合
1. あった	104	24.2
2. なかった	326	75.8
合計	430	100.0



■Q11-1で「1. あった」と回答をした104人について

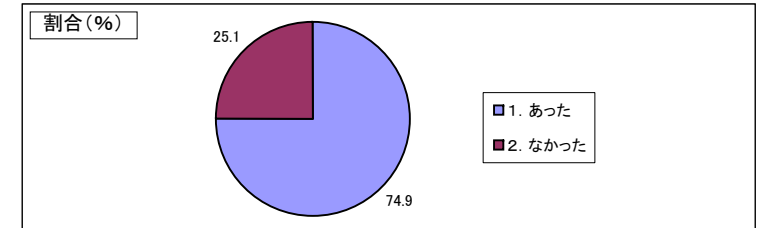
Q11-2【記述設問】 監査役又は監査委員会から監査人へ情報提供された事項の内容をご記入ください。

	件数
・監査役等の監査の状況及び監査結果について	30
・被監査会社の内部統制の評価体制や進捗状況について	13
・監査役等がリスクを感じるポイントについて	13
・不備や重要な欠陥について	8
・海外を含む子会社の状況について	7
・取締役会の状況について	6
・監査役等の全社的な内部統制の評価について	4
・監査役会等の議事録の閲覧	4
・IT全般統制やシステム開発について	2
・その他	6
・具体的な記述なし(単に「情報交換を行った」とする記載)	11
合計	104

内部統制監査に関する実態調査

Q12-1【選択設問】 監査役又は監査委員会との連携において、監査人から監査役又は監査委員会へ情報提供した事項（監査人の監査結果の利用を含む）はありましたか。

回答者数	430	—
選択項目	人数	割合
1. あった	322	74.9
2. なかった	108	25.1
合計	430	100.0



■Q12-1で「1. あった」と回答をした322人について

Q12-2【記述設問】 監査人から監査役又は監査委員会へ情報提供した事項の内容をご記入ください。（複数集計あり）

	件数
・内部統制監査の進捗状況や結果又は被監査会社の評価作業の進捗状況や結果について（※1）	204
・監査人の気付いた事項、不備や重要な欠陥について（※2）	161
・説明会や定例会の実施	17
・個別具体的な会計処理について	3
・経営者との協議内容について	3
・その他	2
合計	390

※1 「内部統制監査の進捗状況や結果又は被監査会社の評価作業の進捗状況や結果について」の詳細は次のとおり

「内部統制監査の進捗状況や結果又は被監査会社の評価作業の進捗状況や結果について」	件数
・内部統制監査の進捗状況や結果について	134
・進捗状況について（内部統制監査の状況か会社の評価作業の状況か具体的な記述なし）	38
・被監査会社の評価作業の進捗状況や結果について	29
・被監査会社の評価作業の遅延について	3
合計	204

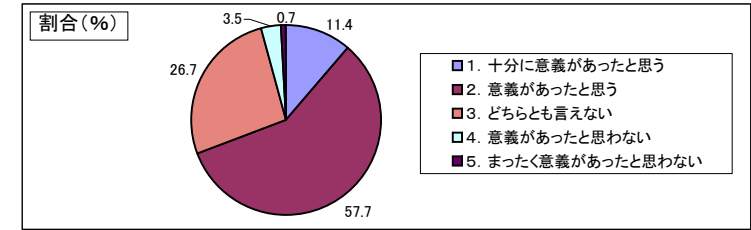
※2 「監査人の気付いた事項、不備や重要な欠陥について」の詳細は次のとおり

「監査人の気付いた事項、不備や重要な欠陥について」	件数
・発見した内部統制の不備について	95
・軽微な不備等の監査人が気付いた事項について	38
・重要な欠陥や重要な欠陥になるおそれがある不備について	14
・不備等の問題がないことについて	11
・不正の温床となる取引等について	3
合計	161

内部統制監査に関する実態調査

Q13-1【選択設問】 監査責任者の視点から、監査役又は監査委員会との連携は、内部統制監査を効果的かつ効率的に実施する観点から意義があったと思いますか。

回答者数	430	—
選択項目	人数	割合
1. 十分に意義があったと思う	49	11.4
2. 意義があったと思う	248	57.7
3. どちらとも言えない	115	26.7
4. 意義があったと思わない	15	3.5
5. まったく意義があったと思わない	3	0.7
合計	430	100.0



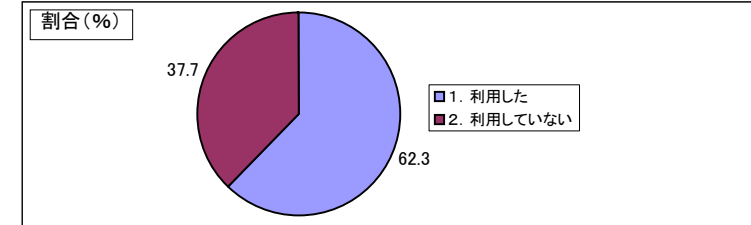
■Q13-1で「4. 意義があったと思わない」又は「5. まったく意義があったと思わない」と回答をした18人について

Q13-2【記述設問】 監査役又は監査委員会との連携は、内部統制監査を効果的かつ効率的に実施する観点から意義があったと思わないと答えた理由をご記入ください。

	件数
・監査人からの一方的な情報提供に終わることが多い等、有益な情報がなく一般的な意見交換に終わったため	8
・監査役等の内部統制報告制度に対する意識が低かったため	4
・監査役等の能力や権限がないため	4
・その他	2
合計	18

Q14-1【選択設問】 内部統制監査を実施する上で、内部監査人等の作業を利用しましたか。

回答者数	430	—
選択項目	人数	割合
1. 利用した	268	62.3
2. 利用していない	162	37.7
合計	430	100.0



■Q14-1で「2. 利用していない」と回答をした162人について

Q14-2【記述設問】 内部統制監査を実施する上で、内部監査人等の作業を利用していないと答えた理由をご記入ください。

	件数
・内部監査人等の能力、体制、評価方法等が未知数又は不十分であると判断したため	54
・監査人自らが実施したほうが効果的かつ効率的であると判断したため	50
・初年度であり慎重に対応したため	24
・内部監査人等の作業が遅延しており、内部統制監査で利用できるタイミングを逸したため	14
・内部監査人等の評価結果の信頼性に疑問があると判断したため	13
・内部監査人等の評価の時期、手続、範囲に相違があるため	7
合計	162

内部統制監査に関する実態調査

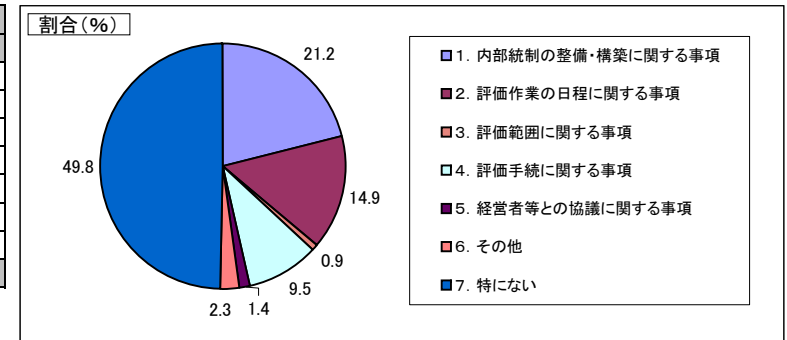
Q15【記述設問】 内部統制監査を行って初めて認識した被監査会社のITに係る内部統制の問題点がございましたら、その内容をご記入ください。特にない場合には、「特になし」とご記入ください。

回答者数	430	—
	件数	割合
・プログラム変更管理、アクセスコントロール、アクセスログ採取等 ITに係る全般統制が有効ではなかった	30	7.0
・モニタリングができていないことやITに関する規程が不足しているなど、ITに係る全社的な統制が不十分である	7	1.6
・ITに係る全般統制又はITに係る業務処理統制の非有効性を手作業による統制で補っていた	4	0.9
・ITに係る全般統制又はITに係る業務処理統制に対する被監査会社の認識が低い	2	0.5
・その他	10	2.3
・特になし	377	87.7
合計	430	100.0

内部統制監査に関する実態調査

Q16-1【選択設問】 内部統制報告制度の2年目を迎えるに当たって、内部統制監査を実施する上で経営者に特に要望する事項はありますか。

回答者数	430	—
選択項目	人数	割合
1. 内部統制の整備・構築に関する事項	91	21.2
2. 評価作業の日程に関する事項	64	14.9
3. 評価範囲に関する事項	4	0.9
4. 評価手続に関する事項	41	9.5
5. 経営者等との協議に関する事項	6	1.4
6. その他	10	2.3
7. 特にない	214	49.8
合計	430	100.0



■Q16-1で「7. 特にない」以外の回答をした216人について

Q16-2【記述設問】 前問で選択項目1～6を選択した場合には、その内容をご記入ください。

1. 内部統制の整備・構築に関する事項	件数
・被監査会社の評価体制や内部統制の整備・運用の更なる向上を要望する	41
・初年度に発見された不備等の改善を要望する	26
・社員のスキルアップや意識向上を要望する	12
・内部統制報告制度に対する部門や企業グループへの影響力の強化を要望する	8
・ITに関する内部統制の整備・改善を要望する	2
・文書化の更なるレベルアップを要望する	2
合計	91

2. 評価作業の日程に関する事項	件数
・評価作業が遅れないように十分なスケジュール管理を要望する	60
・不備が発見された場合の対応を考慮した評価日程の確保を要望する	2
・その他	2
合計	64

3. 評価範囲に関する事項	件数
・評価範囲の決定を弾力的に行うこと(常に見直しが必要であるという認識を持つこと)を要望する	2
・評価範囲が広すぎるため更なる絞込みを要望する	1
・新規事業を行う場合など、当該事業を評価範囲に含めるかどうかの評価範囲の決定の早期化を要望する	1
合計	4

内部統制監査に関する実態調査

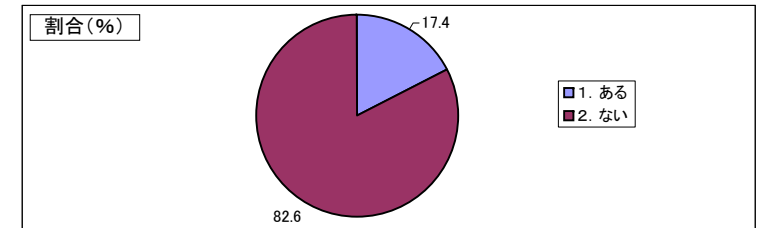
4. 評価手続に関する事項	件数
・評価作業の効率化を要望する	13
・評価手続及び文書化レベルの向上を要望する	11
・被監査会社の評価作業担当者のレベルアップや人員増加を要望する	9
・キーコントロールの選定や評価件数の見直しを要望する	3
・評価手続の早期着手を要望する	3
・内部監査等について監査人が利用できる体制の整備を要望する	2
合計	41

5. 経営者等との協議に関する事項	件数
・定期的、積極的な協議の実施を要望する	4
・前年度からの変更点など経営者側での事前の論点整理を要望する	2
合計	6

6. その他	件数
・監査報酬の適正化を要望する	7
・内部統制報告制度が導入された趣旨・目的の周知徹底を要望する	3
合計	10

Q17-1【選択設問】 内部統制報告制度の2年目を迎えるに当たって、内部統制監査を実施する上で監査役又は監査委員会に特に要望する事項はありますか。

回答者数	430	—
選択項目	人数	割合
1. ある	75	17.4
2. ない	355	82.6
合計	430	100.0



■Q17-1で「1. ある」と回答をした75人について

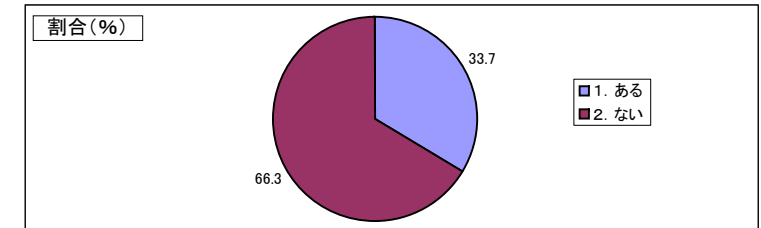
Q17-2【記述設問】 内部統制監査を実施する上で監査役又は監査委員会に特に要望する事項の内容をご記入ください。

	件数
・内部統制の不備、懸念事項、発見事項など監査人への情報提供(情報交換)を要望する	19
・監査役監査での情報をもとに経営者層への適切なアドバイスを要望する	18
・会計基準、監査基準及び内部統制報告制度への理解を深めることを要望する	9
・監査役監査の時期や範囲について、内部統制監査の効率的な実施のための協力を要望する	8
・内部統制上の課題を検出し、改善を促すなど主体的に活動することを要望する	7
・適切な監査時間、適正な監査報酬を得られるように協力することを要望する	5
・初年度の不備の是正に関する監査役監査の実施を要望する	4
・その他	5
合計	75

内部統制監査に関する実態調査

Q18-1【選択設問】 内部統制報告制度の2年目を迎えるに当たって、内部統制報告制度上、今後改善すべきと思う事項(将来的なあり方・展望を含む。)はありますか。

回答者数	430	—
選択項目	人数	割合
1. ある	145	33.7
2. ない	285	66.3
合計	430	100.0



■Q18-1で「1. ある」と回答をした145人について

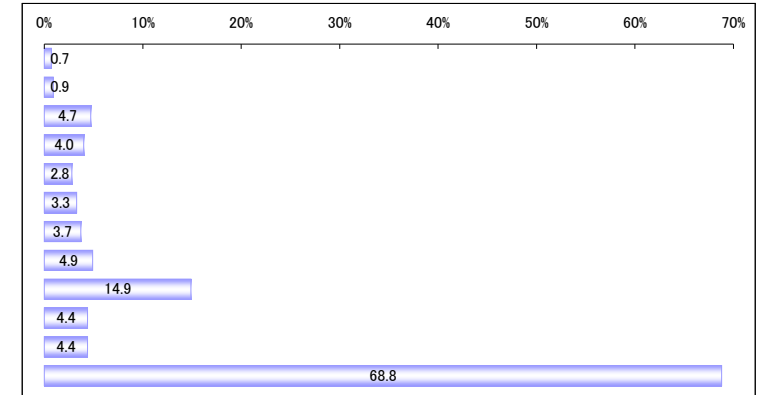
Q18-2【記述設問】 内部統制報告制度上、今後改善すべきと思う事項(将来的なあり方・展望を含む。)の内容をご記入ください。

	件数
・基準等において簡素化・効率化のための具体的な方法を明示すべき	35
・中小規模会社への適用の免除や緩和措置を設けるべき	28
・基準や実務指針等を充実すべき	12
・会社又は監査人間での評価のばらつきを統一すべき	10
・ダイレクト・レポートの採用をすべき	9
・業務プロセスの評価範囲について3勘定でよいかどうか見直すべき	7
・会社法と金融商品取引法を一本化するなど法令間の調整をすべき	6
・内部統制報告制度の理解を深め、浸透させるための施策を検討すべき	6
・内部統制監査と財務諸表監査との一体監査について、手続の効率化を検討すべき	5
・現行の内部統制報告書の記載だけでは実態を読み取れないため、開示を充実すべき	4
・「重要な欠陥」という用語の見直しをすべき	4
・国際財務報告基準の導入に対応できる内部統制の体制整備を検討すべき	3
・内部統制報告制度は、経営者不正に効果を発揮するか疑問がある	3
・内部統制監査の保証水準や監査人の責任を再度検討すべき	3
・持分法適用関連会社を対象に含める場合の実務上の取扱いを具体化すべき	2
・初年度を終えての費用対効果を検証すべき	2
・監査報酬の適正化及び監査時間の十分な確保を行うべき	2
・その他	4
合計	145

内部統制監査に関する実態調査

Q19-1【選択設問】 内部統制報告制度の2年目を迎えるに当たって、監査・保証実務委員会報告第82号において、より具体的な記載が必要と思う事項はありますか。（選択項目1～11は複数回答可）

回答者数	430	—
選択項目	件数	割合
1. 監査人の独立性の検討	3	0.7
2. 監査計画の策定	4	0.9
3. 評価範囲の妥当性の検討	20	4.7
4. 全社的な内部統制の評価の検討	17	4.0
5. 決算・財務報告プロセスに係る内部統制の評価の検討	12	2.8
6. 業務プロセスに係る内部統制（決算・財務報告プロセスを除く）の評価の検討	14	3.3
7. ITに係る内部統制の評価の検討	16	3.7
8. 内部統制の不備の判断	21	4.9
9. 内部統制の重要な欠陥の判断	64	14.9
10. 不備又は重要な欠陥の存在が財務諸表監査に与える影響の検討	19	4.4
11. その他	19	4.4
12. 特にない	296	68.8
合計	505	117.5



■Q19-1で「12. 特にない」以外の回答をした209件について

Q19-2【記述設問】 前問で選択項目1～11を選択した場合には、より具体的な記載が必要と思う事項の内容をご記入ください。

1. 監査人の独立性の検討	件数
・内部統制の改善勧告が公認会計士法第2条第1項の業務であることの明確化	1
・会社の評価作業が著しく遅延している状況下での監査上の取扱い	1
・記述内容不明	1
合計	3

2. 監査計画の策定	件数
・子会社及び持分法適用関連会社の取扱い	2
・財務諸表監査と内部統制監査の計画の一体化	1
・監査計画の策定について更なる具体的な記述	1
合計	4

3. 評価範囲の妥当性の検討	件数
・子会社及び持分法適用関連会社の取扱い	8
・評価範囲の妥当性の検討における重要性の判断	3
・評価範囲の妥当性について更なる具体的な記述	3
・経営者の評価範囲や財務諸表監査における評価範囲との差異の取扱い	2
・評価範囲を決定する選定指標	2
・その他	2
合計	20

4. 全社的な内部統制の評価の検討	件数
・全社的な内部統制の評価の検討について更なる具体的な記述	7
・全社的な内部統制の例示42項目の具体化	2
・全社的な内部統制の不備が与える影響	2
・会計基準の複雑化へ対応するための会社体制の具体化	2
・その他	4
合計	17

内部統制監査に関する実態調査

5. 決算・財務報告プロセスに係る内部統制の評価の検討	件数
・監査人の指摘や修正事項の取扱い	3
・決算・財務報告プロセスに係る内部統制の評価の検討について更なる具体的な記述	3
・決算・財務報告プロセスの評価時期	2
・その他	4
合計	12

6. 業務プロセスに係る内部統制(決算・財務報告プロセスを除く)の評価の検討	件数
・業務プロセスに係る内部統制(決算・財務報告プロセスを除く)の評価の検討について更なる具体的な記述	4
・キーコントロールの選定	3
・サンプリングの方法	2
・その他	5
合計	14

7. ITに係る内部統制の評価の検討	件数
・ITに係る内部統制の有効性の判断基準	7
・ITに係る内部統制の評価の検討について更なる具体的な記述	3
・IT全般統制にエラーがあった場合のIT業務処理統制への影響	2
・その他	4
合計	16

8. 内部統制の不備の判断	件数
・不備の具体例や判断基準	21
合計	21

9. 内部統制の重要な欠陥の判断	件数
・重要な欠陥の具体例や判断基準	37
・発生可能性に関する考え方や判断	6
・不備の潜在的な影響額の算定	5
・「重要な欠陥」という用語の見直し	5
・決算開示情報の記載誤りや漏れなどの取扱い	4
・複数の不備があった場合の取扱い	3
・その他	3
・記述なし	1
合計	64

10. 不備又は重要な欠陥の存在が財務諸表監査に与える影響の検討	件数
・財務諸表監査に影響を及ぼす具体例や判断基準	16
・その他	2
・記述なし	1
合計	19

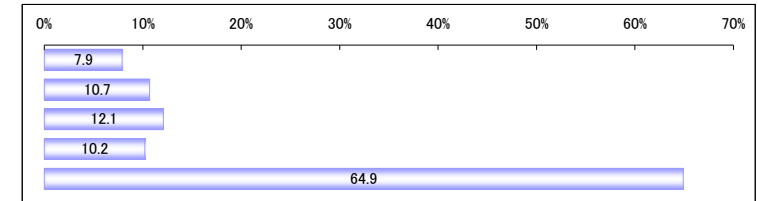
内部統制監査に関する実態調査

11. その他	件数
・全体的に抽象的すぎるので具体例等の記載が必要	7
・監査人の責任を限定的にして、業務分量の軽減を図ることが必要	2
・財務諸表監査と内部統制監査の関係に関する具体的な記載が必要	2
・評価作業が進まない場合や2年目以降の監査上の特別な対応に関する記載が必要	2
・内部統制の評価手続も監査対象とすることの検討が必要	2
・ダイレクト・レポーティングの採用が実現した場合の取扱いに関する記載が必要	1
・会社が必要な内部統制を保証するのか、監査人が必要な内部統制を保証するのか明確化が必要	1
・会社規模に応じた簡略化に関する記載が必要	1
・内部統制は業種・業態において多種多様であるので、実務指針にはあまり具体的を記載しない方がよい	1
合計	19

内部統制監査に関する実態調査

Q20-1【選択設問】 内部統制報告制度の2年目を迎えるに当たって、協会に望むことはありますか。(選択項目1~4は複数選択可)

回答者数	430	—
選択項目	件数	割合
1. 内部統制監査の研修の充実	34	7.9
2. 内部統制監査相談窓口の充実	46	10.7
3. 内部統制監査ツールの作成	52	12.1
4. その他	44	10.2
5. 特にない	279	64.9
合計	455	105.8



■Q20-1で「4. その他」と回答をした44件について

Q20-2【記述設問】 前問で選択項目4を選択した場合には、その内容をご記入ください。

4. その他	件数
・企業や投資家等へ内部統制報告制度の理解を十分に促すための教育や啓蒙活動を望む	12
・相談事項や事例の公表を望む	10
・会社の規模や業種、任意で内部統制監査を実施する場合の指針等の公表を望む	5
・重要な欠陥の判断等のレベル感を統一するための方策を望む	5
・行政当局への提言や調整を望む	3
・これ以上規則は設けないことや制度の簡素化を望む	2
・制度初年度を終えての費用対効果の検証を望む	2
・その他	5
合計	44

内部統制監査に関する実態調査

Q21【記述設問】 内部統制報告制度の2年目を迎えるに当たって、内部統制監査の実施に当たり、監査人として改善すべきと考えている事項がありますか。改善すべきと考えている事項がある場合には、その内容をご記入ください。改善すべきと考えている事項がない場合には、「特になし」とご記入ください。(複数集計あり)

回答者数	430	—
	件数	割合
・効率性を改善したいと考えている(※)	169	39.3
・指導的機能を発揮していきたいと考えている	11	2.6
・監査人として、判断基準、評価基準及び方針を統一したいと考えている	10	2.3
・監査の深度を深めたいと考えている	9	2.1
・監査調書をより整備したいと考えている	8	1.9
・専門家としてスキルアップを図りたいと考えている	6	1.4
・監査役等との連携を強化したいと考えている	2	0.5
・評価対象範囲の決定は、勘定科目の例示によらず会社の状況に応じて会社と監査人の協議で決定するように変更したいと考えている	2	0.5
・その他	7	1.6
・特になし	217	50.5
合計	441	102.7

※ 「効率性を改善したいと考えている」の詳細は次のとおり

「効率性を改善したいと考えている」	件数
・内部監査人等の評価作業を積極的に利用することにより効率性を改善したいと考えている	23
・初年度の経験を踏まえて効率性を改善したいと考えている	17
・評価範囲やキーコントロールの見直し又は絞込みにより効率性を改善したいと考えている	16
・会社との協議、連携を充実させることにより効率性を改善したいと考えている	15
・監査計画、スケジュールを見直すことにより効率性を改善したいと考えている	14
・財務諸表監査との一体監査を徹底することにより効率性を改善したいと考えている	7
・他の監査人との連携を強化することにより効率性を改善したいと考えている	3
・文書化の見直しにより効率性を改善したいと考えている	2
・その他	9
・具体的な記述なし(単に「効率性を改善したいと考えている」とする回答)	63
合計	169

内部統制監査に関する実態調査

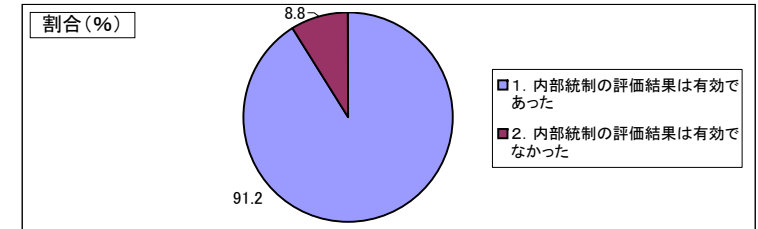
Q22【記述設問】 その他、内部統制報告制度の全体を通じてお気づきの点がございましたらご自由にご記入ください(自由記述)。

	件数
・会社又は監査人の中で評価にばらつきがあるので統一すべきではないか	13
・中小規模会社への制度適用の除外や緩和措置を設けることを検討してはどうか	12
・会社に多大な負担を与えた割には、メリットが感じられなかったのではないか	11
・内部統制報告制度への理解を深め、浸透させるための施策が必要ではないか	8
・経営者及び監査人双方が、継続的に内部統制の改善に取り組むことが重要だと考える	4
・むやみに制度変更するのではなく早期の定着化を望む	4
・形式的な要件を整えることに終始している会社が多いのではないか	4
・将来的に一体監査の趣旨を踏まえて、内部統制監査を再び財務諸表監査の中に取り込むことが投資家の判断に資するのではないか	4
・「重要な欠陥」の用語の見直しや重要な欠陥に至るまでの分類をもう少し細分化すべきではないか	4
・重要な欠陥を表明した会社が少な過ぎるのではないか	3
・会社法と金融商品取引法を一本化するなど法令間の調整が必要ではないか	3
・会社の意識改革には非常に有用であったと感じる	3
・経営者等の役員による不正には、効力が乏しいのではないか	3
・内部統制が有効であると評価結果に適正意見を表明し、次年度以降に不正等の問題が発生した場合の監査人の責任はどうなるのか	2
・基準や実務指針を早期に公表すべきだったのではないか	2
・景気悪化等の影響を受け報酬額の増額は見込めない	2
・その他	11
合計	93

内部統制監査に関する実態調査

Q23-1【選択設問】 ご担当の被監査会社の内部統制報告書の結果について、下記の該当する選択項目を一つ選択してください。

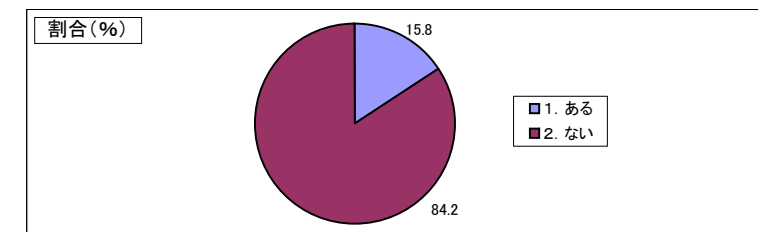
回答者数	430	—
選択項目	人数	割合
1. 内部統制の評価結果は有効であった	392	91.2
2. 内部統制の評価結果は有効でなかった	38	8.8
合計	430	100.0



■以降は、内部統制の評価結果が有効でなかった被監査会社の監査責任者38人を対象としている。

Q23-2【選択設問】 被監査会社の重要な欠陥を判断する上で、経営者と意見が合わなかった事項はありましたか。

回答者数	38	—
選択項目	人数	割合
1. ある	6	15.8
2. ない	32	84.2
合計	38	100.0



■Q23-2で「1. ある」と回答した6人について

Q23-3【記述設問】 被監査会社の重要な欠陥を判断する上で、経営者と意見が合わなかった事項の内容をご記入ください。

	件数
・検出された不備が重要な欠陥に該当することについて	6
合計	6

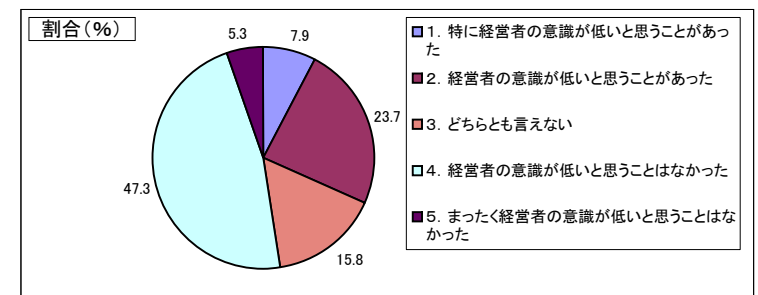
■Q23-2で「1. ある」と回答した6人について

Q23-4【記述設問】 Q23-3で記入した内容について、最終的にはどのような対応をとりましたか。その内容をご記入ください。

	件数
・経営者と協議を重ね、最終的に理解を得た	6
合計	6

Q23-5【選択設問】 監査責任者の視点から、重要な欠陥の是正に関する方針や措置について、経営者の内部統制に対する意識が低いと思うことはありましたか。

回答者数	38	—
選択項目	人数	割合
1. 特に経営者の意識が低いと思うことがあった	3	7.9
2. 経営者の意識が低いと思うことがあった	9	23.7
3. どちらとも言えない	6	15.8
4. 経営者の意識が低いと思うことはなかった	18	47.3
5. まったく経営者の意識が低いと思うことはなかった	2	5.3
合計	38	100.0



内部統制監査に関する実態調査

■Q23-5で「1. 特に経営者の意識が低いと思うことがあった」又は「2. 経営者の意識が低いと思うことがあった」と回答した12人について
Q23-6【記述設問】 監査責任者の視点から、重要な欠陥の是正に関する方針や措置について、経営者の意識が低いと思うことがあったと答えた理由をご記入ください。

	件数
・重要な欠陥を発見した後の対応が迅速性を欠いていたため	5
・内部統制報告制度の意義やその評価が証券市場に与える影響についての認識が不足しているため	3
・適切な能力を持った人材を確保又は増員することの認識が不足しているため	3
・連結子会社を適切に管理していないため	1
合計	12